環境リーダーNews

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会「会報」
https://kankyo-leader.org/

2023 1/28
Vol.121
季刊発行 冬号

鎌倉鶴岡八幡宮

第27回「市民環境活動報告会」ご案内

実行委員長 吉岡嗣二郎

SDGs（持続可能な開発目標）は、実行しその輪を広げ継続する段階にあります。既に、環境保全活動を自発的に実施している方々も SDGs 各分野の環境課題に取り組み、様々な活動が進められています。

この報告会は新型コロナ感染防止のため2年間延期しましたが、その間、活動された方々の成果を発表していただき、市民活動の輪を広げることを目的として下記の内容で開催します。皆様の参加をお待ちしています。

■ 開催日時	2023 年 3 月 5 日(日)、13 時～17 時(予定)
■ 開催場所	かながわ県民センター 2 階ホール(横浜駅西口)
■ 主　　催	第 27 回 市民環境活動報告会 実行委員会
■ 開催テーマ	SDGsの様々な活動について
■ 基調講演	「ヨーロッパの気候変動と SDGsへの取り組み」 毎日新聞社 外信部専門記者 八田浩輔氏
■ 開催内容	今回は5つの団体や個人の方々に環境への取り組み状況やその成果を発表いただきます。 新型コロナ感染防止には十分配慮して実施します。尚、開催条件に急な変更が生じた場合はご理解をお願いします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【主催】第 27 回市民環境活動報告会実行委員会（・NPO 神奈川県環境学習リーダー会・NPO かながわ環境カウンセラー協議会・かながわ地球環境保全推進会議） オブザーバー：神奈川県

子どもサイエンスフェスティバル 横須賀大会

自然環境部会 吉岡嗣二郎

ミニすだれ作りに挑戦

12月17日(土)、「ミニすだれを作ろう」と題したブースを出展しました。35名ほどの子どもたちが、すだれ編みに挑戦してくれました。

県・環境学習リーダー養成講座の講師を務める

大気・水環境部会 長村吉洋

養成講座講師、筆者

11月 20 日(日)、県・環境科学センター「環境学習リーダー養成講座」の講師を務めました。テーマは「体験を中心としたオンライン環境学習教室の実践例」と題して、Zoom での講演を行いました。

●当会の会員数（2023年 1 月12日現在） 正会員：56名、賛助会員：2 名、学生会員 1 名、合計：59名

はまぎん こども宇宙科学館
洋光台サイエンスクラブ

10月～12月 環境体験教室

横浜こども科学館担当
石原靖文

10月から12月の3か月間、洋光台サイエンスクラブにて開催した環境体験教室、8教室の概要について報告します。新型コロナの感染が10月には減少傾向にありましたが12月には再び増え始めました。引き続き基本的な感染対策を行いながら教室開催を続けました。

（詳しい教室の成果報告はこちら→）

❶卵の殻を用いたポプリ作り

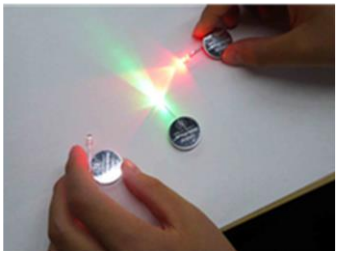
❷ソーラーオルゴール組立て

❸呼気で重い物を持ち上げ

❹冬の植物、種の不思議を観察

❺どんぐりの種を植えて育てる

❻水を大切に、石けん作り



❼LEDにて光の三原色実験

❽正月に向け、ミニ門松作り

❶ポプリ作り教室では、香りの歴史、種類や特徴を説明し、実際に花などの匂いを嗅ぐ体験をしました。その後、卵の殻を用いて香りを楽しむポプリを作りました。卵の殻にリボンの飾りを貼り付け、子どもたちは熱心に工作を楽しみました。❷ソーラーオルゴール教室は、始めに、地球温暖化と省エネの大切さを映像にて学んだ後、電気や省エネなど4実験により省エネの方法を体験しました。オルゴール工作では、電子部品の配線をネジ止め接続して完成、全員が屋外に出てメロディを確認しました。❸エアバック教室では、「パスカルの原理」を実験・体験するもので、エアバックを作って自分の呼気でペットボトルの水や自分の体重を持ち上げる体験を楽しみました。また、ペットボトルで簡易空気砲も作りました。❹めざせ植物ジュニアレンジャー(6)教室は、植物の種がテーマ。隣接公園でセイヨウタンポポ、カエデなどについて講師から説明を受けながら観察しました。ドングリの工作や折り紙でカエデの種の模型を作り、最後に授業の成果を発表しました。❺どんぐりを育てる教室は、森林と温暖化について説明した後、どんぐりヤジロベーやどんぐりコマ作りを楽しみました。親子でプランターに苗床を作って、どんぐりの実(種)を植え、持ち帰りました。自宅でどんぐりの木を育てる体験を楽しでいます。

❻石けん作り教室は、生活の中での水の役割と使用量などを考え、水を大切に使うことを話し合いました。界面活性剤の性質を学び、汚れを落とす実験を行い、石けんと合成洗剤の違いを解説しました。石けん作りでは、こねこね石けん作りを楽しみました。❼LED の三原色実験では、光の性質についてプリズムなどを使って学んだ後、テレビ画面の顕微鏡観察、LED とリチウムコイン電池を使って3色の光をまぜる実験、光の影の実験を行いました。分光シートを使った虹色万華鏡も作りました。❽門松作り講座は、「正月」に利用する植物と人間とのつながりがテーマです。隣接公園で松やユズリハを観察し、門松の由来を説明した後「ミニ門松づくり」を行いました。授業の成果発表の後、8名を「植物ジュニアレンジャー」として任命しました。

開催日(曜)	教 室 名 称	講師名前
10月1日(土)	❶ポプリを作って香りを楽しもう	飯田富佐江
10月15日(土)	❷ソーラーオルゴールを作ろう	鈴木勝男
10月16日(日)	❸「エアバッグ」と「空気砲」を作ってみよう	長村吉洋
11月5日(土)	❹めざせ植物ジュニアレンジャー(6)「ふしぎな、不思議な種の世界」	吉岡嗣二郎
11月12日(土)	❺どんぐりを育てよう(親子教室)	伊藤富男
11月26日(土)	❻手作り石けんを楽しもう	飯田富佐江
12月3日(土)	❼LED を使って光の三原色を学ぼう	長村吉洋
12月18日(日)	❽めざせ植物ジュニアレンジャー特別講座伝統植物と門松を作ろう	吉岡嗣二郎

Leaders TOPICS

混迷の話題、思惑4題

生物部会長、エネルギー部会 吉田和史

■地球温暖化防止・・・皮肉の化石賞受賞

COP27(国連気候変動枠組条約)がエジプトで開催された。脱炭素で気温上昇を1.5℃に抑える目標は揉めた挙げ句に容認した。援助を巡る綱引にも思える。

化石燃料事業への投資額が世界最大なのが理由なのか、日本は3年連続で NGO 化石賞受賞。火力発電でのCO_2排出ゼロ(100%回収)の技術貢献はスルーされる。ウクライナ紛争による深刻な燃料不足もあり2022年は過去最高の石炭消費となり、欧州は化石燃料の争奪に必死である。近年まれな大寒波の追い打ちでも、脱炭素は我が物顔が続く。

■クルマ社会・・・EV(電気自動車)一辺倒に変化

EV車ブームが賑やかであるが、ここにきてEV一辺倒に変化の兆しを感じる。7年前の頃は、燃料電池車MIRAI が夢の脱炭素車で注目されていた。期待も大きかったが普及のハードルは高かった。そんな中、米テスラ車を筆頭に、EV 車が世界中でブームを起こしてきた。一方で、最近の米国ユーザー調査では断トツ人気は HV 日本車。政治的な思惑を横目に EV 車一辺倒は冷めている。期待は水素や窒素を燃料とする研究と実用化。まさかの水素エンジン車がガソリン車のライバルになる時代が来るかもしれない。米欧中は密かに脱 EV 一辺倒の様相で、ユーザーにとっての選択肢が増えるかもしれない。

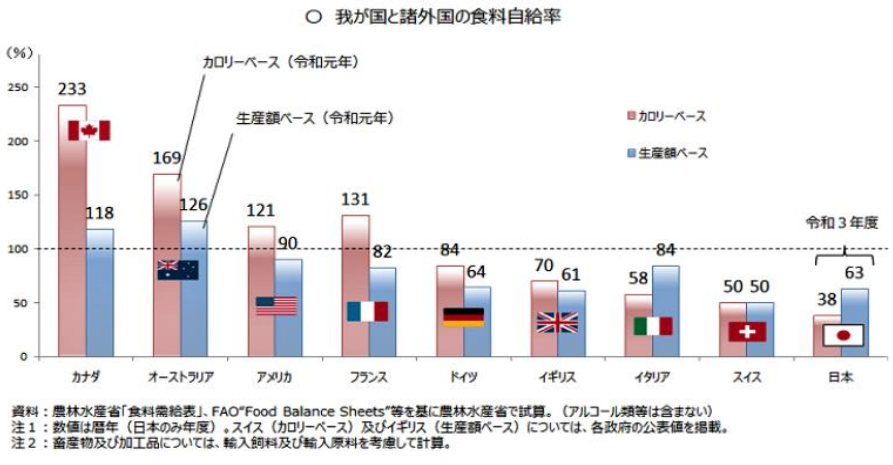
■自給率38%(カロリー・ベース)・・・「世界で最初に飢えるのは日本」(鈴木宣弘著)

食料安全保障に関する本を読んだ。GDP3位の日本(国民一人当たりでは世界27位)には大切な忘れ物がある。国は防衛力強化という経済安全保障に投資しているが、生活を支える大切な食料自給が疎かで食料安全保障が危惧されている。戦後「米を食うとバカになる」と言われた時代に生き、小麦のパン食やメン類が当たり前になった反面、コメ作りの減反政策など農業復興は瀕死状態。その結果の食料自給率38%である。気候変動、戦争、疫病などは一日三食「イモ」時代を覚悟!というのは説得力がある。食料輸入はバーチャルウオーター輸入とも言われ、相手国の水資源を奪うという指摘もある。連作障害のない米づくりは収量の安定と水田による水源涵養効果、洪水防止になり、積極的な投資が次世代に財産を残す方法だと学んだ。自給率100%の社会だった鎖国の江戸時代にヒントがあるとも。

■明るい未来の予感・・・子どもは社会の鏡

少しだけ明るい未来が見える。たくさんの若い世代がスポーツやさまざまな分野で世界のトップで活躍している。ものづくり国にも若者が挑戦している。復活の日々を期待したい。イギリスのことわざ「老いた犬に新しい芸を教えるのは難しい」を謙虚に受け止めつつ、老いた者にできる若者応援をしながら、日本の逆転大復活を楽しみたい。素顔の子どもたちの姿を早く見たい。2023年が日本の目覚めと反転の年でありたいと願うが、まだまだ油断できそうもない。

【世界の食料自給率】



資料:農林水産省「食料需給表」、FAO"Food Balance Sheets"等を基に農林水産省で試算。(アルコール類等は含まない)
注1:数値は暦年(日本のみ年度)。スイス(カロリーベース)及びイギリス(生産額ベース)については、各政府の公表値を掲載。
注2:畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入原料を考慮して計算。

出典:農林水産省『世界の食料自給率』

新会員紹介 Welcome New Face

子どもたちとの触れあい、環境教育を実感

初めまして。8月からリーダー会に入会させて頂いた前田です。現在、東京都市大学の環境学部に在籍しており、環境教育について学んでおります。

研究活動では、環境 NPO の地域に対する環境活動をテーマとして研究しており、研究対象として参加させて頂く NPO を探していく中でリーダー会に出会いました。まず、リーダー会の HP を見て活動の幅広さに驚き一度見学してみたいと思いました。最初は見学だけのつもりでしたが実際にお手伝いさせて頂くことになり、リーダー会の講座の凄さと子どもたちと触れ合う喜びを感じ、入会してリーダー会についてもっと理解したい思いで入会を決意しました。

現在、地球温暖化を始め様々な環境問題が起こっていますが、一つでも多くの原因を改善するために環境教育という分野は非常に重要な存在を担っています。20年以上環境活動や環境教育を行っているリーダー会は、これからも環境教育のパイオニアとして継続的に活動を行うことが環境問題を改善していくきっかけの場となると考えています。入会してリーダー会の活動を肌で感じることで、これからのリーダー会が持続的に発展できるように尽力したいと思っています。リーダー会での活動期間は就職先の関係で3月までとなりますが、少しでもお力添えさせて頂きたいと思っております。

前田航太郎さん PROFILE

・出身地・在住地：横浜市
・生年月：2001年2月
・現在：東京都市大学環境学部
・趣味： サッカー
・所属部会：生物部会

太陽光で動くオルゴールを作ろう

エネルギー部会長 鈴木勝男

この教室は、神奈川県地球温暖化防止活動推進センターの「こども出前環境教室」として、真鶴町教育委員会が真鶴町民センター講堂にて開催されました。当初、真鶴町の夏休みイベントの予定でしたが、10月2日(日)に延期して実施しました。授業には小学 4～6 年生 21 名が参加。地球温暖化の説明と将来の気温上昇のシミュレーション映像により、地球温暖化と省エネの大切さを学んだ後、3つの省エネ実験と動画視聴により、具体的な省エネの方法を学びました。更に、省エネチェックシートに記入して自分でできる省エネ目標を決めました。

オルゴール工作では、電子部品の組み立てにやや苦労し、全員が完成。太陽光でメロディを楽しみました。

ベランダでの太陽光でメロディを確認

「人工の雲」を作ろう

大気・水環境部会 大岩俊雄

この教室は、神奈川県立産業技術総合研究所「なるほど！体験出前教室」として11月18日(金)、横浜市立小学校にて実施しました。授業は、クラブ活動の4～6年生が対象。授業目的は、生物と水の関係、地球上の水循環に果たす雲の役割を理解することが狙い。

「水」は、生物にとって生き続けるために必須であること、地球の環境は生物に適している理由や、地球の水のうち、人類が利用できる水が極めて少ないことを説明し、水を大切にすることの理解を深めました。また、地球の水の循環と雲の役割を説明し、雲ができる原理を解説しました。人工の雲作り体験では、子どもたちが持参したペットボトルの中に雲を作りました。また、空気砲の実験も行いました。

ペットボトルの中に人工の雲を体験

環境活動案内 Information (2月～4月)

■教室イベント情報	月日(曜)	開催時間	開催場所	開催担当
■環境にやさしい入浴剤を作ろう	2月4日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■ヨウ素でんぷん反応で食べ物を調べてみよう	2月11日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■第27回 市民環境活動報告会	3月5日(日)	13:00～17:00	県民センター	実行委員会
■めざせ植物ジュニアレンジャー(1)身近な春の植物たち	4月8日(土)	10:00～12:00	計画中	生物部会
■ストームグラスと天気の不思議(親子教室)	4月9日(日)	10:00～12:00	計画中	水・大気部会
■「花だんご」を作って花を育てよう(親子教室)	4月15日(土)	10:00～12:00	計画中	水・大気部会
■体温でも回るソーラー風車を作ろう	4月22日(土)	10:00～12:00	計画中	エネルギー部会
■保護色で「動物かくれんぼ」ミニこいのぼり工作と食べたもの調べ	4月23日(日)	10:00～12:00	計画中	生物部会
■植物ジュニアレンジャー活動(1)温暖化と植物	4月29日(土)	10:00～12:00	計画中	生物部会

●定例部会情報	開催月日(曜)	開催時間	開催場所	部会長
●生物部会	2月15日(水) 3月15日(水) 4月19日(水)	15:00～16:00	当面 開催見合わせ (県民センター10階)	吉田和史
●エネルギー部会	2月22日(水) 3月22日(水) 4月26日(水)	勉強会 15:00～ 定例会 16:00～17:00	会議室 or オンライン会議 (県民センター会議室)	鈴木勝男 (桑原 清)
●水・大気部会	未定	—	—	伊藤富男

「動物かくれんぼ」を2教室実施

自然環境部会 武澤研二

かながわ環境教室にて、「動物かくれんぼ、保護色実験と食べた生きもの調べ」授業を、11月8日(火)に三浦市の小学校【写真左】と、11月17日(木)に相模原市の小学校【写真右】の2校で実施しました。

サンゴ礁で魚の保護色実験

みんなで食べた生物種をまとめて発表

私たちは、生物多様性保全の「出口」(明確なゴール)を示すには至りませんが、授業を通じて子どもたちに「入口」、即ち、生きものへの興味、その暮らしへの理解、生きものたちのつながりとその恩恵への気付きを促すことが共に学び、考える「学習」と心得、授業に臨んでいます。

本授業は保護色の働きから生き物のつながりへの理解、私たちの食生活が多様な生物資源に支えられていることへの気付きを促すのが狙いです。「私たちは様々な生き物を食べています。命と健康を支える生き物に感謝し、好き・嫌いなく、残さず大切に食べましょう(食品アレルギーの人は無理しないで)」とメッセージを伝えました。

「運営部会」改定のお知らせ

代表理事 田口繁雄

運営部会に関する細則の一部改定が1月理事会にて承認されましたので、その概要をお知らせします。

●**改定検討**:部会運営検討会を設置、2022年９月から12月の間、協議、検討。

●**改定理由**:部会の不都合改善、部会活動の充実化、NPO 法人としての当会への講座・活動要望や会員の自主性を重んじた運営を図る。

●**改定条項**:細則・第10条「事業部会」(1)この法人に次の運営部会を置く。

●**改定内容**:「エネルギー部会」改定なし、「子どもサイエンス部会(旧ケナフ部会)」→廃止、「大気・水環境部会」→名称の変更(水・大気部会へ)、「廃棄物部会(旧廃棄物GO3部会)」→廃止、「グリーン部会」→水・大気部会に統合、「自然環境部会」→名称の変更(生物部会へ)。

●**改定後**:「エネルギー部会」、「水・大気部会」、「生物部会」。

新運営部会の体制をホームページに掲載しています。

STAFF 募集

エコ活動しませんか？ 体験参加歓迎

募集案内

事務局だより 武澤研二

■ 理事会の開催予定

2月9日(木)、3月9日(木)、4月13日(木)

場所:いずれも「かながわ県民センター」705会議室

時間:14:00～16:00

●よこはま夢ファンド 会員の皆様

当会を指名して「よこはま夢ファンド」への寄付をお願いします。この助成金は当会の環境活動に貢献しています。ふるさと納税の減税対象です。

■ 編集後記 ■ 当会が環境ジャンル毎に活動する部会構成が今年1月に改編されました。従って、本誌では昨年の報告事項は旧部会名称にて掲載し、今年からの内容などは新部会名称にて掲載しています。

部会制が発足して20年経過し、これまでに部会の全体構成についてメスが入る機会がなく、今般、その機運が到来したので、部会構成が見直されました。これまでの6部会から、「エネルギー部会」、「水・大気部会」、「生物部会」の3部会制で運用することになりました。

部会を構成して環境活動を行う根源には、人間が群れて行動する本能があります。群れ(グループ・部会)を作って行動する現象を心理学的には「ハーディング効果(Herding effect)」と言うらしい。この「ハーディング効果」には、「共通感、友だち感、助け合い、安心感、快適さ、居心地」など安定した雰囲気が構成されます。

環境活動をボランティアで行う我々にとって、環境ジャンル毎に「ハーディング効果」があってこそ環境活動への意欲やモチベーションの高揚感が得られ、活動の継続が保たれます。

今回、改めて3部会構成でスタートしたので、会員の方々で未だ部会活動に参加していない方は、是非、部会に参加して「ハーディング効果」の雰囲気で環境活動を楽しんで欲しいと思います。 小林信雄

■ 特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 「会報第121号」 2023年1月28日（土）発行
■ 発行者：代表理事 田口繁雄 編集：広報部長 小林信雄
■ 所在地：〒226-0005 横浜市緑区竹山三丁目2番地４ 竹山3201－134
■ Web：https://kankyo-leader.org/ ・ご連絡、お問合せ E-Mail：npo.k.leader@gmail.com
◆ 寄付・会費等納入口座：ゆうちょ銀行00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会
★ ©不許複製：神奈川県環境学習リーダー会

「 環境リーダー会 」検索

●本会報は、当会ホームページにフルカラーPDF 版にて掲載しています。郵送配送版や展示版はモノクロ印刷版です。